

平成27年度第2回鎌ケ谷市きらりホール運営委員会会議 会議録

開催日時 平成27年10月9日(金) 午後2時00分～3時30分

会 場 きらり鎌ケ谷市民会館内 中央公民館 学習室5

出席者

(1) 出席委員 11人

平栗三男委員長、齋藤譲一副委員長、樋口敏之委員、石橋哲弥委員、清水暉允委員、内山治委員、小川由美子委員、相澤美智子委員、佐瀬光代委員、加藤嘉美委員、石井圭子委員

(2) 欠席委員 2人

伊藤眞由美委員、植草ひろみ委員

(3) 事務局 2人

田中生涯学習部参事(事) 市民会館長、平澤市民会館主査

傍聴者 0人

1 開会

(事務局)

議事に入る前に鎌ケ谷市では、鎌ケ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針により、会議は個人に関する情報などの法令に定めのあるものを除き、原則公開とされておりますので、ご了承いただきたいと思います。

～傍聴人の有無を確認～

本日の傍聴人はいらっしゃいません。

これからの議事進行につきましては、平栗委員長にお願いしたいと思います。委員長よろしくお願いします。

(委員長)

はじめに、この会議は、鎌ケ谷市きらりホール運営委員会設置要綱第6条第2項により、過半数の委員の出席をもって成立することとしており、本日の会議は成立しております。

なお、伊藤眞由美委員と植草ひろみ委員は所用により欠席されております。内山治委員は所用により遅れて参加されます。

また、今回の会議より石橋哲弥委員が参加されます。委嘱状は会議前に事務局よりお渡ししております。

それでは、本日の会議録署名人を決めたいと思います。事務局から提案をお願いします。

(事務局)

鎌ケ谷市きらりホール運営委員会委員名簿の上から順にお願いすることとし、本日は齋藤譲一委員と小川由美子委員にお願いしたいと思います。

(委員長)

ただ今、事務局から提案がありました。齋藤譲一委員と小川由美子委員に本日の会議録の署名をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

2 議題（１）平成28年度きらりホール事業計画（案）について

(委員長)

議題（１）平成28年度きらりホール事業計画（案）について事務局より説明願います。

(事務局)

前回の会議の結果と、各委員からの提案をもとに、資料1「平成28年度きらりホール事業計画（案）」を作成しました。月に1回程度の開催ということで、仮にスケジュールを組んでいます。

まず、①きらりホール主催事業の「第1回きらりホール ○○○コンテスト」ですが、これは、前回の会議で植草委員からご提案いただいたものです。コンテストの内容や審査をどうしたらいいかという問題もありますので、もう一度皆様からご意見をいただきたいと思っております。

次に、「(仮) 夢と希望をあなたに、ディズニー・メロディー・スペシャル」ですが、これは、加藤委員からご提案をいただいたものです。委員が中心となって、ディズニーの音楽を演奏するという企画です。委員の中で出演候補者を絞り、その中で一度会議を開きました。詳細はまだ決まっていますが、今後も月1回程度会議を開いていきたいと考えています。

次に、「(仮) 東京オリンピック・パラリンピック応援企画～映画上映とアスリートトークショー～」ですが、こちらも加藤委員からご提案いただいたものです。平成28年7月24日はちょうど2020年のオリンピックと同じ日ということで、映画上映とトークショーを予定しています。

次に、「(仮) 夏休み企画 舞台ワークショップと演劇鑑賞」ですが、これは、石井委員からご提案をいただいたものです。「シニア劇団波瀾ばんばん座」を出演者の候補として挙げさせていただきました。学生向けのワークショップを開き、その後に演劇鑑賞をするという企画です。

次に、「(仮) 夏休み企画 きらりホールの舞台に立ってみませんか？」ですが、これは、きらりホールの舞台に実際に立つ機会を提供したいということで企画しました。1時間単位でピアノやその他の練習を無料体験してもらうことで、きらりホールのPRに繋がればいいなと思っております。

次に、「(仮) L i b e r o b a と映画の世界コンサート」ですが、これは、植草委員がピアニストの中村由利子さんと組んでいるユニット「L i b e r o b a」の演奏と、女優の紺野美沙子さんの朗読や歌手の白鳥英美子さんの歌で、映画の世界を再現するというコンサートです。

次に、「笑いの殿堂！きらり浅草漫才3」ですが、これは、2年連続で開催しましたが、毎回ほぼ満席で、高齢者が楽しみにしているので、この企画は外せないと考えています。

次に、「一般財団法人事業 地域創造 公共ホール音楽活性化事業」ですが、これは、3日間の事業です。1、2日目は学校や福祉施設等でミニコンサートやワークショップを行い、3日目にきらりホールでコンサートを開催します。一般財団法人地域創造が演奏家派遣費等を負担してくれるので、安価な料金で実施することができます。現在、一般財団法人地域創造に申し込み中で、結果待ちの段階です。貴重な機会ですので、選考が通れば、ぜひ開催したいと考えています。

次に、「(仮) 寄席」ですが、これは、鎌ヶ谷市出身の落語家の立川志ら玉さんを中心に寄席を開きたいということで企画しました。

次に、「(仮) 0歳からのクリスマスコンサート」ですが、これは、年間に1本は子ども向けのを開催したいということで企画しました。クリスマスコンサートなので、この日程で開催できるよう、鎌ヶ谷市ゆかりのアーティストを探したいと考えています。

次に、「(仮) 歌舞伎体験プログラム」ですが、これは、伝統芸能を広く知ってもらうため、平成27年度は能楽、平成28年度は歌舞伎を開催したいと考えています。入門編として、鑑賞と体験が一つになったプログラムを考えています。

次に、「(仮) バレンタインコンサート」ですが、これは、バレンタインにちなんだコンサートを開催したいということで企画しました。この日程で開催できるよう、鎌ヶ谷市ゆかりのアーティストを探したいと考えています。

次に、「市民創作ミュージカル」ですが、これは、平成27年度は3月19、20日に行いますが、平成28年度も同じ日程で行いたいと考えています。平成28年度も新たに一般公募をして、市民と一緒にミュージカルを作りたいと思います。

次に、「映画鑑賞」ですが、これは、平成28年度からは映画鑑賞を定期的に開催したいと考え、企画しました。6、9、12月の木曜日に単館系映画等の観る機会が少ない映画を上映したいと考えています。

次に、「バックステージツアー」ですが、これは、2、3か月に1回、平日に、大人向けと子ども向けに分けて開催したいと考えています。前回の会議で、舞台の利用の仕方がわからない利用者が多いと伺ったので、利用者向けの講座も組み込みたいと思います。

最後に、②その他事業としまして、「(仮) 市民会館2周年記念「桜」の絵に関するロビー展示」を開催したいと考えています。平成27、28年度と年度がまたがってしまっていますが、市民会館が平成28年4月で開館2周年を迎えますので、桜の絵を公募して、ロビーを桜で満開にしようという企画です。一度、中央公民館の絵画サークルに相談したところ、「桜は実物がないと描けない」、「桜以外でもいいのではないか」というご意見もいただきましたので、委員の皆様からもご意見をいただければと思います。

(委員長)

ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご意見ご質問はございますか。

(委員)

「第1回きらりホール ○○○コンテスト」ですが、受賞者が次のステップにあがるかどうかを考えると、非常に難しいです。審査員がある程度の品評ができて、初めて成り立ちます。前回の会議で私が言いましたように、登竜門的なものにすれば、運営委員などを呼んで簡単なアドバイスができます。コンテストという呼び名がふさわしいかどうかは分かりませんが、やるのはいいことだと思います。評価にこだわっているとイベントとして成り立ちません。

ジャンルを分けた場合は、あるジャンルは集まるが、それ以外のジャンルは集まらないかもしれません。でも、1回目だから、テストとしてこういうイベントをやるのはいいと思います。

子どもはお笑いが好きで、学校の文化祭で漫才やコントをやっています。主催事業で毎回浅草漫才をやるなら、子どもだけでなく、年配の人にも参加してもらいたいです。まだ検討する時間があるので、内容はこれから詰めていけばいいと思います。

(委員長)

日程は、平成28年4月29、30日の2日間でしょうか。

(事務局)

2日間の予定ですが、1ジャンルだと1日だけになるかもしれません。

(委員)

シニアの発表の場がなかなかないと地元の自治会の集まりなどで聴きます。市内にもバンドやフォークソングなど、上手い人がたくさんいます。ただ、一番人気があるのはカラオケです。歌いたい人がいっぱいいますので、審査しないと収集が付きません。

(委員)

NHKの「のど自慢大会」を思い出しました。シニア向けだとこの方が集まりやすいと思います。きらりホールでできたらいいなと思います。

(委員)

千葉テレビのカラオケ番組はどうでしょうか。

(委員)

千葉テレビのカラオケ番組にエントリーして、公開収録を行うといいと思います。中継車を出してもらいますが、きらりホールの告知には最適です。ただ、今回は最初なので、ジャンルにこだわらずにやった方がいいかもしれません。

(委員)

小学生がヒップホップを習っているのだから、対抗戦でも面白いかもしれません。せっかく習っているのだから、学校だけでなく、外での発表の場があるといいと思います。

(委員)

明日は「鎌ヶ谷市民まつり」で、子どものダンスの団体が色々出ます。ヒップホップにこだわらずに創作ダンスやバレエなどもいいと思います。

(委員長)

ある程度絞り込まないと、大変ですね。

(委員)

アイデアを出して行って、個別に話し合いをして、全体会議で了解を得れば良いと思います。

(委員)

間口が広すぎると収集がつかなくなるという心配があります。例えば、2日間開催するのであれば、1日目は音楽の日、2日目はパフォーマンスの日と考えてもいいと思います。

ジャンルで分けるのではなく、「○○○コンテスト」の「○○○」を「私が一番輝けるで勝負」にするとか、「一番元気なパフォーマンスをした人が優勝になる」とかはどうでしょうか。「○○○で賞」を作ってもいいと思います。

(委員)

1位、2位じゃなくてね。

(委員長)

そういうものの方が面白いかもしれませんね。

(委員)

応募者が多くなる可能性を考えると、最初は書類やDVD映像で審査をして、きらりホールで最終審査をするのがいいと思います。整理しないと収集がつかなくなります。

(委員長)

出演したい人がたくさんいると思います。4月に開催するとなると、具体的に動かないと、すぐ時期が来ますね。

(事務局)

半年ですね。

(委員)

タイムスケジュールや告知方法を決めていかないとイケません。

(委員長)

「広報かまがや」に掲載するのも1か月半前でないと間に合いません。

(委員)

新聞を取っていない人もいますし、公民館等に「広報かまがや」が置いてあっても、取る人が少ないので、なかなか人が集まりません。自治会回覧の方が、確実に見ます。ただ、回覧板は親だけ見て次に回すので、子どもは見ません。学校に掲示してもらおうとかほかにも方法はあると思います。

(委員長)

回覧板の方が見るのではないのでしょうか。

(委員)

例えば、鎌ヶ谷市がボランティアを募集していることを大学生でも知りません。回覧

板は親が見るだけで、子どもにまで伝わりません。

(委員)

名称はコンテストでない方がいいですか。

(委員)

発表の場の方がいいですね。

(委員)

1回目ですから、やってみないとわかりません。2回目以降だと、あるジャンルの著名な人を呼んでパフォーマンスをやってもらうということもできます。

(事務局)

キャッチーなタイトルを付けてはどうでしょうか。

(委員)

「職員がパフォーマンスをするから採点してみませんか」とか、どうでしょうか。

(事務局)

長いので、簡潔な方がいいですね。

(委員)

「チャレンジ」、「ザ・チャレンジ」はどうでしょうか。

(委員)

中学生だとダンスが多いです。3月頃に「体育館でダンスの発表をさせてもらえないか」と聴きに來ます。

タイトルは「チャレンジ」でいいのではないのでしょうか。

(事務局)

中学生は参加するのでしょうか。

(委員)

ダンスをやっている子はたくさんいます。市内にダンス教室もありますよ。男の子もいます。

(委員)

それはたくさん集まりますよ。

(事務局)

タイトルは「チャレンジ」か「ザ・チャレンジ」でいいですね。

(委員)

表記はカタカナですか。あえて、ひらがなでもいいかもしれません。

(委員長)

コンテストは入れませんか。

(事務局)

入れません。優勝者を決めないといけないので、発表の場でいいのではないのでしょうか。

(委員長)

どういう風に進行していくかも決めないといけません。

(事務局)

「チャレンジ」であれば、どういうことをやってもいいと思います。優劣をつけません。

今回は、カラオケは選考から外した方がいいでしょうか。

(委員)

カラオケは主旨から外れてしまいますが、歌を歌いたい人もいます。

(委員)

カラオケは多いですよ。ものまねもありますし。

(事務局)

カラオケは応募者が殺到してしまうかもしれません。

(委員)

カラオケは、演歌だけじゃなく、ポップスもあります。カラオケのCDを流して、歌を披露する人もいるかもしれません。

(委員)

「チャレンジ」だから、ある程度時間を決めればいいのではないのでしょうか。

(事務局)

カラオケは排除しないで、選考して決めましょうか。

(委員)

そうですね。

(委員長)

では、具体的な内容はこれから詰めるということで、よろしいでしょうか。

～一同了承～

(委員長)

次に、「(仮) 夢と希望をあなたに、ディズニー・メロディー・スペシャル」はどうでしょうか。

(委員)

委員の皆さんがいろいろな活動をしているので、それを舞台上で披露したらいいと思い、企画しました。先日、分科会を開き、日程も決めました。ディズニーの曲は誰でも知っているし、数多くのヒット曲があります。演奏も歌もありということで、出演者も観客もキャラクターの耳を付けたりすると面白いと思います。

以前、新京成電鉄株式会社が「聖徳大学レディスパーカッション」のコンサートをきらりホールで開きました。その時は、楽器の代わりにお鍋を叩いたり、子どもをステージにあげて一緒に演奏したりしていました。そういうものも面白いし、例えば、シンバルやタンバリン、カスタネットを持って来てもらって、皆で一緒に演奏するのもいいと思います。

ただ、入場料を取ると著作権の問題があります。一緒に歌うために、歌詞カードを配

ると著作権料がかかります。

分科会の時に聴いたのですが、鎌ヶ谷フィルハーモニック管弦楽団は、どちらかというところクラシックの曲をメインで演奏しているそうです。例えば、映画「ファンタジア」では、「魔法使いの弟子」や「トッカータとフーガ ニ短調」、「アヴェ・マリア」など、クラシックの曲が使われています。そのような親しみやすいクラシックの曲も鎌ヶ谷フィルハーモニック管弦楽団に演奏してもらえたらいいなと思います。

鎌ヶ谷吹奏楽団では、今まで「アラジン」や「美女と野獣」、「リトル・マーメイド」の曲などを演奏しているので、手持ちの曲で対応できるのではないかと思います。

詳しい内容は、これから詰めていきたいと思います。

(委員長)

この企画は、少し動き始めているんですね。

(委員)

次の分科会は11月に開きます。

(委員長)

では、これから進めていってください。

次に、「(仮) 東京オリンピック・パラリンピック応援企画～映画上映とアスリートトークショー～」はどうでしょうか。

(委員)

これも私の企画なのですが、平成32年7月24日がちょうど開会式で、平成28年7月24日が日曜日なので、主催事業で何かやりたいと考えています。鎌ヶ谷市にもパラリンピックのウィルチェアラグビーの荻野晃一さんという選手がいて、4回もパラリンピックに出ています。現在は、全日本代表のコーチをしていて、この間千葉県で優勝しました。今月もパラリンピックの出場権がかかっている試合があります。千葉県にはメダリストでなくても、出場者もいます。国立競技場が壊される前の昭和39年の「東京オリンピック」の映画上映とトークショーを開催するのはどうでしょうか。

あと、ユニオン通りに「街かど美術館」がありますが、平成13年に市制30周年記念で落書き防止のために小学生が絵を描いたそうです。その時から絵が変わっていません。そこに、「鎌ヶ谷市は東京オリンピック・パラリンピックを応援します」というコメントをのせて、小中学生にオリンピック競技の絵を書かせてはどうでしょうか。そうすれば、報道機関は取り上げてくれます。

(委員長)

「東京オリンピック」の映画は借りることができますか。

(委員)

借りるのはお金がかかります。入場料を取ると著作権料がかかりますが、その値段は調べないとわかりません。シニア世代で昭和39年の「東京オリンピック」をもう一度見てみたい方は多いと思います。

(委員長)

このご意見に対して、皆さんどうでしょうか。

(委員)

面白そうですね。

(委員)

いいと思います。

(委員長)

では、開催するということで、よろしいでしょうか。

～一同了承～

(委員長)

次に、「(仮)夏休み企画 舞台ワークショップと演劇鑑賞」はどうでしょうか。

(委員)

きちんと事務局に説明していなかったこともあるのですが、もともとの企画は、「シニア劇団波瀾ばんばん座の鑑賞」と「舞台ワークショップ」の2つです。「シニア劇団波瀾ばんばん座」の主宰者は、市川市で「いきいき健康教室」の講師をしています。そこで、体を動かす表現や発声練習をしているうちに、演劇をやったらいいよねというところで立ちあがった劇団だと思います。

「シニア劇団波瀾ばんばん座」はワークショップの技術もあると思いますが、「舞台ワークショップ」とは別物として考えています。夏休み企画であれば、学生も来て欲しいですが、公演のアンケートを見ても、利用が多いのはシニアです。シニアが何かを表現するきっかけになればいいなと思います。そのあたりは、皆さんのご意見をいただければと思います。

(委員)

「シニア劇団波瀾ばんばん座」の活動は盛んですか。

(委員)

1年に1回公演のペースで活動されています。次回は平成28年2月に第3回目の公演があります。

(委員)

オリジナルですか。

(委員)

オリジナルです。第1回目が「飢餓海峡」という3時間近くの公演でした。

(委員)

やることはやぶさかではありませんが、どういう劇団でどういうことをやっているのかを映像資料で見た方がいいと思います。

(事務局)

そうですね。候補として挙げさせていただいているだけなので、今後調査をして実際にできるかどうかを検討しないといけません。

(委員)

切り口としてはいいと思います。シニアが頑張っているぞというものを見せて、隣の市川市でやっているから、これから鎌ヶ谷市でもできないかどうかという投げかけにもなります。

(委員)

この劇団は、シニアが団員として活動していますか？

(委員)

そうですね。60歳以上という年齢制限があります。市川市のワークショップを受けた方が中心で、鎌ヶ谷市の方もいるそうです。

(委員)

平成28年3月に初めて「市民創作ミュージカル」を開催しますね。出演者を公募して、毎週土曜日に練習しています。1回見学しましたが、お子さんから年配の方まで、皆さん積極的に取り組んでいます。

(委員長)

日程は平成28年8月20日の予定ですが、暑いので、シニアは来るのが大変だと思います。

(委員)

高校生もワークショップの対象になっていますが、秋の文化祭で、クラス単位で演劇を発表します。そのため、1学期に演劇鑑賞があり、夏休みに準備をします。近隣の高校はそういうパターンが多いです。鎌ヶ谷高校も演劇をやるので、声をかけると来てくれるとは思いますが。日程は7月下旬だと効果的ですが、8月だと遅いです。

(事務局)

夏休みであれば、平日でもいいですか。

(委員長)

それはかまわないですね。

(委員)

現在、小中学校で演劇はやってますか。

(委員)

中学校はないです。昔はやっていたかもしれませんが、私の知っている限りではないです。

(事務局)

学芸会はないですか。

(委員)

ないですね。

(委員)

指導する先生が少ないのですか。

(委員)

一から全部やらなければいけないので、どうしても時間がかかってしまいます。それ

をやるとなると1か月以上かかるので、厳しいです。学芸教室で本物を鑑賞させて、そこから興味持ってもらって、いろいろなことに挑戦するということがいいのかなと思います。

(委員)

高校に約2年いましたが、4月の上旬に企画をして、夏休みの後半には、もう準備をしていますね。日程は7月の方がいいです。

(委員)

7月で、期末試験が終わった直後がいいです。

(委員)

夏休みになってもいいと思います。ホールは空いている時期ですからね。

(委員長)

もっと早い時期がいいと思います。

(委員長)

日程は検討課題にしましょう。

(事務局)

そうですね。日程はまた調整しましょう。

中学生は演劇をやっていないと言っていましたが、状況はどうか。

(委員)

演劇はやっていませんが、興味がある子はいるかもしれません。

(委員長)

市民創作ミュージカルの出演者には、小学生はいますが、中学生はいないです。

(委員)

部活が忙しいですからね。そのうえ、塾やクラブチームもあるとなると厳しいですね。高校生の方が融通が利くかもしれません。

(委員)

シニアも参加できるようなものにした方がいいかなと思います。

(委員)

シニア劇団を呼ぶのであれば、学生を対象にしたワークショップは別に考えた方がいいかもしれません。シニア向けだと、平日の昼間や夕方に開催した方がいいと思います。

(委員長)

そうですね。時間もありますので、検討しましょう。

では、次に、「(仮)夏休み企画 きらりホールの舞台に立ってみませんか？」はどうでしょうか。

(委員)

「機材はピアノだけあるけれども、他の楽器は自分で持ってきてきなさい」ということですか。

(事務局)

そうですね。

(委員)

体験ということなので、オープニングセレモニーの一環みたいなものですか。

(事務局)

そうですね。ただ、観客は入れずに自分達で試しに舞台上で演奏してみませんかということですか。

(委員)

友達を呼んでもいいのですか。

(事務局)

それは構わないです。

(委員)

これはいいと思います。子ども達に使ってもらえればいいですね。対象は子どもに限るのですか。

(事務局)

大人でも大丈夫です。

(委員)

長い時間、例えば、10時から17時までなど、長い時間でも取れるのですか。

(事務局)

そうですね。土日は人気があると思うので、平日であれば取れると思います。

(委員)

3日間くらい期間があるといいですね。

(委員)

応募が多くなりそうですね。

(事務局)

そうですね。抽選になってしまうかもしれません。

(委員長)

それでは、これも開催するというので、進めましょう。

次に、「(仮) L i b e r o b a と映画の世界コンサート」はどうでしょうか。

(委員)

「L i b e r o b a」はいいですね。先日、自動車販売会社のショールームでコンサートがあったので、妻と観に行きました。中村由利子さんと植草ひろみさんのユニットで、とてもいいのですよ。紺野美沙子さんの朗読とトワエモアの白鳥英美子さんの歌もあるので、イベントとしてはとても面白いと思います。

(委員長)

はい。私も観に行きました。これも開催するというのでよろしいでしょうか。

(委員)

そうですね。この企画は完成度が高いですね。

(事務局)

これはパッケージですからね。

(委員)

もちろん有料ですね。

(事務局)

はい。有料です。

(委員)

中村由利子さんはドラマなどの劇中音楽をやっている人だから、イメージがあれば、ある程度コード進行を決めて、アドリブでできます。

(委員長)

その場で譜面を書いて、即興で演奏したのですごいなと思いました。

では、次に、「笑いの殿堂！きらり浅草漫才3」はどうでしょうか。

(委員)

これは開催しましょう。

(事務局)

これは売れ筋ですね。

(委員)

今年は何枚くらい売れているのですか。

(事務局)

現在、400席くらいです。

(委員)

すごいですね。チラシを見ましたが、出演者は一時代前の人が多いです。でも、知名度がありますからね。

(事務局)

前方の席が全部埋まって、後方の席しか空いていないので、お客さんに怒られています。自治会回覧を依頼するのが遅かったようです。

(委員)

班が多い自治会は、全戸回覧だと半月かかります。それで、いい席が売り切れているから怒られているのですね。来年は早く回してください。

(事務局)

気を付けます。

(委員長)

次に、「一般財団法人事業 地域創造 公共ホール音楽活性化事業」ですが、これは開催するのでしょうか。

(事務局)

まだわからないのですが、選考から外れると開催できません。

(委員)

抽選なのですか。

(事務局)

一般財団法人地域創造が全国から申込みを受けて、どこにするかを審査して決めます。大部分の費用は、一般財団法人地域創造が負担してくれます。

(委員)

どういふものをやるかはわからないのですか。

(事務局)

出演者の候補があるので、その中から希望を出します。おそらく応募数は多いと思うので、当選したら開催したいと思います。

(委員長)

わかりました。次に、「(仮) 寄席」はどうでしょうか。

(委員)

鎌ヶ谷市に落語家の立川志ら玉さんの親御さんが住んでいます。その関係で縁があり、先日、立川志ら玉さんに敬老会に出演していただきました。立川志ら玉さんは、立川流の立川志らくさんの弟子です。平成27年10月1日付で真打に昇進し、立川らく里から立川志ら玉に改名しました。例えば、立川志ら玉さんを中心にして、その一門の方も一緒に寄席を開いてもいいかもしれません。交渉はこれからなので、決定ではありませんが、鎌ヶ谷市ゆかりの方を応援していきたいなと思っています。

(委員)

スケジュールの調整次第ですね。埼玉県出身の落語家の林家たい平さんは、よく埼玉県で公演をしています。地元への思い入れがあるし、地元で活動する意味もあると思います。

(委員)

立川志ら玉さんは東部小学校と第二中学校の出身で、大学を卒業してから、落語家になりました。

(委員)

地元で応援されると、芸人は頑張ると思います。

(事務局)

では、日程は流動的ですが、開催することにしましょう。

次に、「(仮) 0歳からのクリスマスコンサート」はどうでしょうか。

(委員)

幼児が泣いても構わないということですね。

(委員)

とてもいい企画だと思います。

(委員長)

では、こちらも開催することにしましょう。

次に、「(仮) 歌舞伎体験プログラム」については、どうでしょうか。

(事務局)

まず、ワークショップで、歌舞伎の鑑賞方法を教えます。きらりホールは花道がないので、花道がなくてもできるような歌舞伎を考えています。公演費用はそれほど高くありません。

(委員)

どんな役者ですか。

(事務局)

若手の役者だと思います。パッケージがあるので、その中で役者を手配してくれます。

(委員)

歌舞伎に興味を持ってもらえればいいですが、こちらから与えても全然意図が伝わらないこともあります。鎌ヶ谷市も伝統芸能を応援しているということを前もって市民に発表しないとイケません。

(事務局)

そうですね。若い世代にも見てもらいたいと思っています。

(委員)

私は日本劇場技術者連盟の理事長をやっていますので、有難いなと思います。歌舞伎を見る人がだんだん少なくなっています。これからオリンピックに向けて、もっと先のことも考えて、伝統芸能をもっと市民に広げたほうがいいと思います。ただ、お金の問題がありますね。

(委員)

入場料はいくらくらいですか。

(事務局)

これから決めますが、なるべく安価で考えています。

(委員)

学生料金を作る方がいいですね。若手の歌舞伎役者がテレビに出たりして、人気が出ているので、歌舞伎に興味を持つきっかけになっていると思います。

(委員)

演目も大事ですね。若手の歌舞伎役者は、新しいことを考えて、それを歌舞伎にしています。

(委員)

アニメをモチーフにした歌舞伎をやっているそうですね。

(事務局)

アニメの「ONE PIECE」ですか。

(委員)

ああ、そうです。

(委員)

舞台美術として新しいものは、「プロジェクションマッピング」ですね。現在、一生

懸命スタッフが勉強しているところです。

(委員)

ディズニーランドでもシンデレラ城に映像を映したりしていますね。

(委員)

映像でパアーツと映るから、効果があるし、若い世代は違和感を持たないと思います。本物の歌舞伎でも使ってみたらいいのではないかと思います。

(委員)

セットがなくても、「プロジェクションマッピング」でセットを映して、歌舞伎の芝居をやる、そういう時代になりつつあります。

(委員長)

では、こちらも開催することにしましょう。

次に、「(仮) バレンタインコンサート」はどうでしょうか。

(事務局)

日程が合う出演者をこれから選定します。

(委員長)

では、これは検討課題にしましょう。

次に、「市民創作ミュージカル」はどうでしょうか。

(事務局)

平成28年度も開催する方向で、助成金を申請しています。3か年事業として考えています。

(委員長)

わかりました。

次に、「映画鑑賞」はどうでしょうか。

(事務局)

作品を選ぶとどうしても洋画が多くなってしまいましたが、きりりホールでは字幕は向かないと思います。ただ、吹き替えだとイメージが壊れてしまうので、邦画だけに限定してもいいのかなと思います。前回の会議でも話しましたが、ぜひ上映したいのは「遺体 明日への十日間」です。東日本大震災の時に体育館に遺体が数千体集まって、扱いがぞんざいになってしまったけれども、民生委員のおじいさんが、遺体も心をこめて丁寧に扱おうとしたという話です。素晴らしい映画です。その他にも、お勧めの映画はたくさんあります。

(委員長)

では、検討してくださいね。

次に、「バックステージツアー」はどうでしょうか。

(委員)

これはやった方がいいですよ。前は、子ども向けだったので、大人向けにもやった方がいいと思います。そうすれば、ボランティアで手伝いたいという人が出てくるかも

しれません。「鎌ヶ谷市民まつり」でも学生を中心にボランティアを募集して、いろいろなことを手伝ってもらっています。

映画の話もありましたが、きらりホールはスクリーンがありません。 Horizont幕に映すから、暗いです。文字があっても見えません。

(委員)

スクリーンがないのですか。

(事務局)

スクリーンはありますが、一番奥にあるので、遠く感じます。

(委員)

後で見せてください。

(事務局)

わかりました。

(委員長)

先日、私も上映会を開催しましたが、十分綺麗でしたよ。

(事務局)

字幕が少し見づらいと思います。

(委員)

スクリーンが奥にあると、少し見づらいですね。予算の問題もあるので、今すぐではなくて、実際に上映会をやってみて、改修していけばいいと思います。

(委員)

定期的を開催して、評判が良ければ、何年か後に改修すればいいと思います。

(委員)

「映画館で見るより、きらりホールで観た方が良かった」という声があればいいですね。

(委員長)

では、こちらも開催することにしましょう。

次に、その他事業について、「(仮)市民会館2周年記念「さくら」の絵に関するロビー展示」はどうでしょうか。

(委員)

ロビー展開だけでしょうか。

(事務局)

きらりホールは使いません。ロビーで桜の絵を展示して、その絵の前でサークルに演奏してもらったらいいなと思っています。ロビーが空いてしまう期間があるので、年間を通してロビーを活用したいという狙いです。

(委員)

写真を見ながら絵を描く人も多いので、絵と写真を展示すればいいと思います。

(事務局)

絵画サークルにご意見をいただいたところ、「お祝いに関する花であれば、桜でなくともいいのではないか」、「桜は春にならないと咲かないので、事前に描けない」と言われました。

(委員)

写真を撮ってきて、それを見ながら描く人が増えています。

(委員長)

写真から描くのは味気ないですね。現場に行って、描くのがいいですね。

(事務局)

ロビーが閑散とする時を無くすために企画しました。

(委員)

きらりホールで何かイベントをやっていない時なので、平日ですか。

(事務局)

ロビー展示は頻繁にやっていますが、時期的に空いている時があります。そういう時はロビーががらんとして、寂しいです。

(委員長)

以前、習字の展示と一緒にロビーコンサートがありましたね。

(事務局)

そうですね。ロビーコンサートもやりたいと思います。

(委員)

学校はどうですか。小中学校の絵を展示してもいいと思います。

(委員)

定期的に募集がありますので、いろいろな絵を描いています。募集すれば集まると思いますが、3月、4月は時期が悪いです。

(委員)

学生をターゲットにした展示がいいと思います。展示を目当てに保護者も来ると思います。

(委員長)

では、開催するというので、内容は今後検討してください。

3 議題(2) その他 今後の会議日程及びきらりホール主催事業関係者席について

(委員長)

議題(2) その他 今後の会議日程及びきらりホール主催事業関係者席について、事務局より説明願います。

(事務局)

今後の会議日程ですが、平成28年度は5月下旬頃に開催し、平成28年度の事業計画をまとめたものを提出させていただきたいと考えています。財政的な問題で、予算が削減される場合もありますので、ご了承ください。

(委員)

それは仕方ありませんが、きらりホールをもっとアピールしていかないといけません。

(事務局)

平成28年度はきらりホールをPRできるような企画を多く入れたつもりです。

前回の会議でも説明させていただきましたが、主催事業の関係者席をご用意させていただきます。ただ、満席の場合はお断りさせていただきますので、ご了承ください。

平成27年10月23日(金)、24日(土)に「しあわせのタネ」というミュージカルがあります。ミュージカルは馴染みがないのか、あまり観客が入っていません。プロモーションビデオを借りてきましたが、とても面白そうなので、試しに観てみてください。また、平成28年1月23日(土)に「第1回かまがや能楽公演」があります。平成27年度の目玉の事業なので、ぜひご観覧ください。

4 閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

平成28年3月8日

氏名 齋藤譲一

氏名 小川由美子